

5/28
5
6/25

\\こんなことが決まりました!\\

定例会ハイライト



5月定例会では、市長提出議案51件、議員提出議案8件を審議しました。ここでは、本定例会で審議した主な議案の内容を紹介します。すべての議決結果等は8、9Pに掲載しています。

条例
改正等

吹田市介護老人保健施設(吹田老健)を民間事業譲渡へ



吹田老健の現状とこれまでの経緯

吹田老健は平成4年(1992年)の開設以来、30年以上にわたり高齢者福祉の推進に大きく貢献してきました。しかし近年、民間法人による介護サービス事業の充実、老朽化等による利用率の低下や物価高により、吹田老健の経営は極めて厳しい状況にありました。当面の事業継続を図るため、令和7年9月定例会で市からの運営費負担金9,000万円の補正予算を可決した際、議会は市に対して「今後の運営の在り方を含め、早急な検討を行うこと」を賛成多数で求めています。

これを受け、市は「介護老人保健施設としての機能そのものは引き続き必要であるものの、その提供主体が公である必要性は低下している」との判断から、公の施設としては廃止し、事業譲渡するための関連議案を提案しました。

今回決まったこと

※6～7Pにも掲載しています。

慎重な審議の結果、令和9年10月の民間運営スタートに向けて、以下の内容が可決されました。

01 施設の廃止と指定期間の変更 賛成多数

令和9年10月1日付で公の施設としては廃止し、それに伴う現指定管理者の指定期間を短縮

02 2億円の補正予算 全員賛成

譲渡先を厳正に選ぶための選定委員報酬と、民間運営が始まる日まで利用者への安定したサービスを提供し続けるために運営費負担金を支出



吹田市介護老人保健施設(片山町)

事業譲渡に向けての対応

民間への事業譲渡にあたり、市は以下の条件で令和8年8月から譲渡先の公募を開始します。

利用者の方	継続利用を希望する方は、原則全員引き継ぐこと
施設の職員	継続雇用を希望する職員は、原則全員採用すること
事業の継続性	今後25年間介護保険施設として運営すること

補正 予算

避難所生活を体験！ 全員賛成

避難所宿泊体験訓練の実施 250万円

実際の避難生活に近い環境を再現した避難所宿泊体験訓練を実施し、課題等について整理を行います。検証結果を踏まえ、マニュアルや訓練モデルの内容を検討します。



契約

男女共同参画センターをリニューアル 全員賛成



男女共同参画センター(出口町)

建設から40年近くが経過し、改修が必要となっている男女共同参画センターの大規模改修工事を行います。ロビーを広々とした空間にすることや授乳室の新設、トイレの全面改修などを予定しており、利用者の方にとってより快適な環境となります。

令和9年9月1日(予定)の再開館をお楽しみに！

※改修中はさんくす3番館5階の仮事務所に移転しています。

意見書

意見書とは、市民生活に関わる重要な課題について、議会の考えや要望を意見としてまとめた文書のこと。

全員賛成

① 物価高・資材不足への緊急対策

イラン情勢の影響による原油高や資材不足から国民生活・中小企業を守るため、迅速かつ大胆な経済支援等を国へ要望しました。

② 地方議員の社会保険への不正加入防止の法整備を 全員賛成

一部の地方議員による法人の肩書を利用した社会保険への不正加入を防ぐため、国民が納得できる公平な法整備を国へ要望しました。

③ ドナーミルクの安定供給 全員賛成

小さく生まれた赤ちゃんの命を守るドナーミルク(寄付母乳)を安定供給できるよう、法整備・財政支援および普及啓発を国へ要望しました。



④ 皇族数確保へ 賛成多数

「皇室典範改正」の早期実現

皇族の減少が深刻な中、皇族数の確保に向けて、今国会での速やかな皇室典範改正を国へ要望しました。

決議

決議とは、市に関わる重大な事項に関し、議会の意思を対外的に表明するもの。

過去にも
府や市に
要望!

① 万博駅周辺開発の「一体的な計画と調査」 賛成多数

大阪府が進める駅周辺開発で、議会のたび重なる求めにもかかわらず利用方法が保留された土地を除外したまま手続きが進んでいます。この現状を受け、大阪府および事業者に対し、改めて事業全体の一体的な計画提示と、丁寧な住民説明を行うよう働きかけることを市へ強く求めました。

② 市有地の貸付契約を精査し、適切な土地の管理を 賛成多数

市有地の貸し付けに係る契約において、全庁的な整合性等を欠く事例が判明しました。行政の公平性を守るため、本件に係る契約内容を速やかに法的に精査し、必要な是正措置を迅速に講じるよう市へ強く求めました。



意見書・決議の全文は市議会ホームページで確認できます



意見書・決議全文